

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

被ばく線量管理システムを用いた CT 撮影における撮影者間の被ばく線量の調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2021 年 1 月～2022 年 3 月に当院 CT 検査において頭部、胸部、腹部～骨盤、胸部～骨盤、冠動脈撮影を受けられた方。

2. 研究目的・方法

医療法施行規則の一部改正により 2020 年 4 月より医療被ばくによる線量記録の適正な管理、記録を行う事が義務付けられ、各メーカーから市場に線量管理システムが販売されています。線量管理システムで抽出できるデータは被ばく線量、撮影長、撮影回数、撮影者、依頼医師、患者さんの身長と体重等があります。CT 検査の被ばく線量は一断面の被ばく指標である CTDI vol と撮影長から算出される一回分の被ばく指標である DLP が重要な因子となっています。診療放射線技師が設定をする撮影範囲を必要以上に広げるとは、被ばく線量の増加となります。そこで診療放射線技師の経験年数によって被ばく線量に影響を及ぼすか線量管理システムで調査を行うことを目的とします。

研究期間

「昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、研究機関の長の実施許可を得てから 2022 年 6 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院 CT 検査において頭部、胸部、腹部～骨盤、胸部～骨盤、冠動脈を撮影した患者さんの中から、CTDI vol、DLP、撮影長、体重、撮影技師を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについても患者さんもしくは患者さんの代理人のかた

にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部 氏名：平野 高望

住所：142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8000